



令和7年度定期総会報告 & 新任第二地区自治会長として

鴨居地区社会福祉協議会 副会長 服部 真人

令和7年度の定期総会が5月24日（土）に開催され、令和6年度事業報告・決算報告及び、令和7年度事業計画・予算について審議され、提出議案すべてにおいて満場一致で承認を得ることが出来ました。

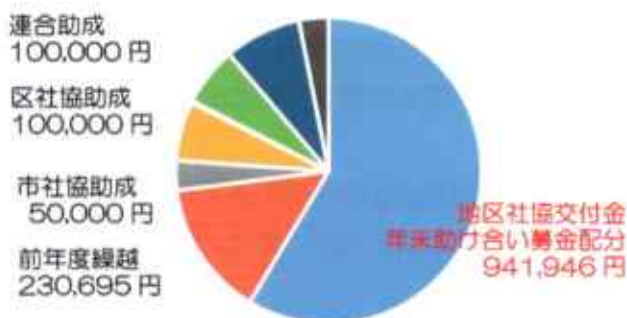
予算としては、地域の皆様の方からの年末助け合い募金を財源とした地区社協交付金が大きなパートを占めており、これが鴨居地区の高齢者支援、子ども支援の数々のボランティア活動を支えています。鴨居会館食事会、鴨居ケアプラ食事会、手作りを楽しむ会、鴨居こども食堂ばくばく、鴨居福祉まつり、敬老祝などですね。また、助成金は、民児協、子どもレクレーション、わくわくキャンプ、いきいきサロン、地区大運動会、老人会、こがも広場に行っており、これらの財源が鴨居地区の福祉の増進・向上、地域の笑顔を支える活動を支援しております。

そんな活動の一つ、鴨居こども食堂（毎週木曜日）では皆様のお陰で、5周年を迎え、昨年度は年39回1494人分のお弁当を作ることが出来ました。実際に来ていただく会食をメインの活動に軸を移し、子ども・子育て家庭を支える活動として大きな実績を残しつつあります。但し、対応するスタッフは不足気味なところがあるので、ボランティア活動にご興味のある方はお近くの民生委員児童委員、または社協役員へお問い合わせくださいませ！

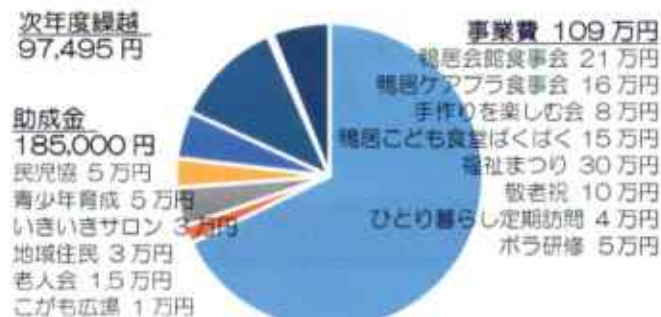
重ねてお伝えします。右上収入赤字部分は皆様の年末助け合い募金の額に比例して交付されます。

物価高の中、どこの団体もやり繰りに苦労している状況です。ぜひ、年末助け合い募金へのより一層のご協力を、お願いいたします！！

令和7年度予算：収入：1,606,445円



令和7年度予算：支出：1,606,445円



最後になりましたが、服部は今年度より鴨居第二地区自治会会長職を拝命いたしました。笑顔溢れる、住みたい街鴨居をモットーに、鴨居二丁目、鴨居地域を皆様と盛り上げていきたいと思っています。



結婚を機に鴨居に住んで、27年。多くの先輩方の心配り、手助けにより楽しい子育てライフ、鴨居ライフを過ごさせていただきました。その恩返しもしていききたい、です。

皆様、よろしくお願いいたします！

顧問	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	書記	書記	書記	會計	會計	副會長	副會長	副會長	事務局長	會長			
岡本幸美	入原康	岩岡清	上野きよ	石関早苗	柳澤範子	秋元祥子	徳永忠次	宇戸健二	櫻井奈穂	小原修	木村升	横田豊美	岩泉智子	織袋昇	今映子	八木下正	秋元秀夫	中野隆	続薫	砂原肇	佐藤芳彰	木村和之	西井保江	杉浦真由美	西川克美	柳下美代子	服部真人	鈴木道子	庄司登志子	小宮山政行	小池邦仁

令和7年度体制

「社協総会に出席して」

鴨居第六地区自治会長

八木下 正

はじめまして、鴨居第六地区自治会長の八木下 正と申します。

鴨居に住んで50年、人が優しいこの町が好きです。

この度、鴨居地区社会福祉協議会のメンバーになりました。よろしくお願いします。

今回、鴨居地区社協の総会に出席して、改めて社協のスタッフ、民生児童委員の方のご尽力に感謝する次第です。

また、地域の皆さんの善意である年末助け合い募金が社協の福祉活動に大きく貢献、寄与しています。

福祉の「福」はいわゆる幸福の福、「祉」は社会全体の幸せということ、福祉とは私たちの生活のなかに生きているものなのです。

これからも、皆が幸せになる地域活動と一緒に考えていきたいと思います。

締め有一句、皆さんが笑う門には福祉来たる。



新任あいさつ

鴨居地域ケアプラザ 所長

佐藤 登

この度、4月に鴨居地域ケアプラザの所長に着任いたしました佐藤でございます。

日頃より鴨居地域ケアプラザの運営・活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

先日は定期総会にお招き頂き、貴重なお話や皆様の地域活動報告に触れ、地域とのつながりの大切さを再認識させて頂きました。

近年、高齢化・孤立化・単身での子育て等、地域課題は多様化してきております。そんな中、鴨居地区社協皆様の日々の活動により、鴨居地域の安心・安全な暮らしに繋がっていると日々実感しております。

我々鴨居地域ケアプラザも地域福祉の拠点として、今後も皆様とのつながりを大切に、地域のパートナーとして共に歩んでまいりたいと思います。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

生活支援コーディネーター

大塚 威英

4月から鴨居地域ケアプラザの生活支援コーディネーターとなりました大塚です。社会福祉協議会の活動に加わせていただき、まず驚いたのは住民の多くの方々が主体的に地域活動に参加されていることでした。

先日、鴨居の発展について地域の方にお話を伺う機会がありました。かつては田畑が広がるのどかな環境だったが、昭和37年に国鉄鴨居駅が住民の働きかけで開業、まちの開発が進んだとのことでした。

まちの発展を肌で感じ、まちづくりに関わる熱意が今も続いている、そこに地域活動が活発な理由があるのでは、とお話を聞いて思いました。地域福祉という点から、微力ですが私もまちづくりに関わっていきます。よろしくお願い致します。



退任あいさつ

前生活支援コーディネーター

伊藤 直美

鴨居地域ケアプラザに勤務して約17年。鴨居地区の皆さまには大変お世話になりました。特に生活支援コーディネーターになってからの9年間は、鴨居地区の様々な活動に参加させていただきました。一組の親子からはじめた鴨居こども食堂はくばく、コロナ禍でもつながりを絶やさないために開催した鴨居福祉まつりなど、鴨居地区の福祉に対する熱い思いを感じた日々でした。今後は鴨居地区の住民として、少しでもお手伝いできたらと思っています。これまで本当にありがとうございました。



～編集後記～

他地区の話などを伺うと、コロナ禍の数年間で多くの地域活動が継続できなくなってしまい、地域交流の機会・場が狭まってしまった、という事をよく聞きます。鴨居地区はコロナ禍以前の姿を完全に取り戻している現状を目の当たりにすると、本当に「鴨居の底力」というものを感じます。是非とも皆様と次世代へ繋いでいきたいですね！